

南箇公民館

周年

30



わが町 南館地域の歴史について

文責 地域歴史研究家・元南館公民館長 杉浦 健治

■今に伝えられる「南館」

① 「南館」という地名について

1889（明治22）年、明治政府は、市町村制を取り入れ、この南館も、北足立郡本崎村となり「領家村」は「本崎領領家」となりました。

「南館」は領家村の小学として、明治時代の地図に、近くの「立野」や「大東」とともにその名称が出てきます（明治時代）より



② 領家…立野・大東・南館

立野（たのの）：区域の北西部。
本崎村の道路元標があり、江戸時代には、領家村の小名「野」がありました。

大東は、当時（おおむがし）と呼ばれ、立野の南方、区域の北東部。現在は、町名「大東」に受け継がれています。

南館は、当時（みなみ）と呼ばれ、立野の南東、区域の南部に位置していました。

1966、1967、1982年に町場一・二丁目、領家一・三・五・六丁目、南・南二丁目になりました。

③ 南館公園・南館自治福利会館・南館公民館

名称の由来として、領家三丁目以南に南館公園と南館自治福利会館が隣接するようにあり、北南通りを挟んで、南館公民館があります。

南館自治福利会館の敷地には、領家三丁目の地中管が設置され、公園には、利用に関する注意書きが書かれてあります。

公民館の現在の名称は、さいたま市で南館公民館で、南館道路には、大きな案内板も取り付けられています。

